

公開シンポジウム

ワークライフバランス政策 研究と政策との交流

ワークライフバランス：パネル調査の分析から

樋口 美雄（日本学術会議第1部会会員、慶應義塾大学教授）

佐藤 一磨（明海大学経済学部経済学科 講師）

萩原 里紗（慶應義塾大学大学院商学研究科、日本学術振興会特別研究員）

親の就労と子どもの養育環境：発達心理学の視点から

菅原 ますみ（お茶の水女子大学大学院教授）

子ども・子育て関連3法について（大都市の保育供給への対応）

伊奈川 秀和（内閣府大臣官房少子化・青少年対策審議官（併）大臣官房審議官（共生社会政策担当））

札幌市における男女共同参画及び保育施策の現状と方向性について

森 有史（札幌市市民まちづくり局男女共同参画室男女共同参画課長）

女性のキャリアと出産：近未来事業や21世紀成人縦断調査の結果から

永瀬 伸子（日本学術会議連携会員、お茶の水女子大学大学院教授）

討論者 津谷 典子（日本学術会議第1部会会員、慶應義塾大学教授）

趣旨

少子化、雇用の2極化など、若い世代の仕事と家庭のバランス政策の推進が求められているが、課題は山積みである。子ども・子育て三法の策定により、低年齢児保育の拡充に一定の前進が期待される今、研究と政府や自治体との交流を計画した。第1報告はパネル調査の成果を労働と家族の視点から、第2報告は妊娠から3歳までの追跡研究から親の就労と子どもの養育環境のあり方について。続いて内閣府から子育て三法の取り組みを、札幌市からは男女共同参画と保育施策について具体のお話をいただく。第5報告は第1子出産の変化であり、討論にうつる。

日時：2013年 **6** 月 **1** 日（土）午後3時40分～午後6時40分

会場：札幌市立大学 芸術の森キャンパス

（〒005-0864 北海道札幌市南区芸術の森1）

参加費無料 申込不要

お問い合わせ：workfam@cc.ocha.ac.jp